

令和7年度 豊川市公園施設等利活用・適正化計画策定委員会

第3回策定委員会 議事録

■ 日 時 : 令和7年7月25日(金) 13時30分～14時30分

■ 場 所 : 豊川市役所 防災センター

■ 次 第

1. 議題

(1)公園の利活用・適正化における基本的な考え方案(資料1)

(2)公園再編計画・地区(校区)別公園再編計画案(資料2)

豊川市公園施設等利活用・適正化計画 骨子案概要(参考資料)

2. その他

・計画策定スケジュール(資料3)

■ 出席者及び欠席者の氏名

(1) 委員

氏 名	所 属	役 職	備考
岡 本 肇	中部大学工学部都市建設工学科	准教授	学識
臼 井 直 之	岐阜市立女子短期大学デザイン環境学科	准教授	学識
落 合 利 夫	豊川商工会議所 建設関連部会	部会長	商工業
市 川 勝 久	豊川造園建設協同組合理事	理事	造園
猿 渡 裕 子	特定非営利活動法人 とよかわ子育てネット	理事	児童福祉
櫻 井 利 夫	豊川市連区長会	代表	町内会

(2) オブザーバー

氏 名	所 属	役 職	備考
真 田 和 佳	愛知県都市・交通局都市基盤部 公園緑地課	課長補佐	オブザーバー
岩 田 勝 則	愛知県東三河建設事務所都市施設整備課	課長	オブザーバー

(3) 事務局

氏 名	所 属	役 職	備考
山 本 英 樹	都市整備部	部長	豊川市
田 中 良 生	都市整備部	次長	豊川市
松 原 太 郎	公園緑地課	課長	豊川市
宇 都 野 友 一	公園緑地課	課長補佐	豊川市
成 瀬 庸 孝	公園緑地課 公園整備係	係長	豊川市
下 平 晟 也	公園緑地課 公園整備係	係員	豊川市

■ 議事概要

1. 議題

(1) 公園の利活用・適正化における基本的な考え方案

【資料説明】 資料 1

【質疑応答】

委員長	5 ページ ② 3 つ目の箇条書きの「多様な利用者が高齢層や利用目的に応じ町内に存在する複数の公園に対し、それぞれの機会で楽しく利用できるよう、地区の特性に応じた各公園の機能特化を進めます。」が文章としてわかりにくいのではないのでしょうか？
事務局	文章を区切り、わかりやすく示します。
委員長	5 ページ ② 2 つ目の箇条書きの「様々な人が、お互いに譲りあいながら気持ちよく公園を利用できるようなルールづくり」とあるが、ルールづくりとはどういったことでしょうか？
事務局	これまでは苦情があった場合禁止としていたものを、使い勝手の良くなるように地域の住民にルールをつくっていただくという意味合いです。
委員長	どちらかというルールを緩和するような目的なのであれば、「ルールの再編」等といったように言い回しを変えるべきだと思います。
副委員長	1 ページ 課題 4 の「公園が使いやすくなる柔軟な使い方への転換、利用機会づくり」にある内容が「できる規定」のニュアンスになれば良いかと思います。 3 ページの「地域に愛される”暮らしの舞台”としての公園の再生」に関して、市民の中には舞台に上がりたくない人もいるため、もう少し広い捉え方をしても良いと考えます。公園の役割としては、生活を拡張する場であると思います。「舞台」は他の場所よりも目立つところに上がるという意味合いですが、すべての公園がそうであるとは限らないため、表現の仕方を考えた方が良くと思います。例えば、「暮らしを拡張する庭」などのニュアンスの方が良いかもしれません。
委員長	問題提起していただいたため、この場で決めなくても良いのであれば、次回の委員会までに皆さまに考えていただきたいです。
事務局	「舞台」の表現の変更は、本委員会で確定するものではないので、次回の委員会でも問題はありません。

副委員長	「舞台」と掲げることを駄目だとは思ってはいません。ネーミングにこだわる必要はありませんが、狙いや目的が背景として反映されているように、言葉の裏にある想いは持つておくべきだと思います。
委員	公園の近くに住む人からの騒音などの苦情があるため、町内の方と協力して改善できれば良いと思います。
事務局	最近では、バスケットボールのドリブルの音で苦情があります。既存の遊具が古くなった際にただ取り換えるのではなく、こういった遊具が良いのかを地域の方と話し合いの上で決めていければと思います。
委員	6 ページ ③ 5 つ目の箇条書きの「多くの人が集まる核となる公園」は何か所くらいを想定していますか？
事務局	具体的な数は現時点では整理しておりません。

(2) 公園再編計画・地区(校区)別公園再編計画案

【資料説明】 資料2

【質疑応答】

委員	公園の再編区分である「用途転換」の方向性は決まっていますか？
事務局	用途転換としては公園の廃止を含むので公園以外の用途になりますが、明確な方針はありません。公園の廃止は大きな影響を及ぼすため、地域の方と話し合いながら最終決定をしていく予定です。
委員	用途転換の候補とした公園については、使われていない原因などを究明することが必要だと思います。
事務局	本計画では公園ごとに機能タイプまでは示したいと考えています。その中で用途転換候補とした公園に対しては、原因の究明のために再度調査や話し合いを行いたいと思います。
委員長	再度調査をする場合は本計画の策定後に行う予定でしょうか？
事務局	計画策定後に校区ごとに地元説明会等、地域に応じた説明方法により、実施していきたいと考えています。

委員長	特定の公園についての方針や再編区分等をどう記載する予定でしょうか？
事務局	個別の公園に対する再編区分等の表現方法に関しては、皆さまと相談しながら進めていきます。
委員	大人と子どもの利用する公園が離れてしまうと、安全性の観点から良くない状況も起こり得るかもしれません。公園間の導線距離をスムーズにすることも併せて考えた方が良いと思います。利用者観点から考えると、校区単位では難しいのではないかと思います。
事務局	地域の状況や将来の暮らしにあった公園の再整備に配慮したいと思います。
委員	自身の近所にある2つの公園の利用頻度が違う理由はトイレの有無であると感じています。最近できた公園で綺麗であるものの、トイレがないため利用者が少ないと思うと、評価の仕方を改めなければ新しく整備してもその効果を十分に発揮できないことも考えられます。
事務局	限られた財源の中で実施するため、メリハリをつけて計画を進めていきたいと思います。
委員長	11ページの「再編の展開イメージ」図は校区ごとに事情が異なり、地域タイプを類型化することも考えられます。
オブザーバー	5ページの「①評価の考え方」では5つの指標でそれぞれ高中低と分かれています。どのような基準で6ページの「②評価による再編区分の設定」の高中低と振り分けられるのでしょうか。
事務局	指標に関しては点数化するなど、次回以降の委員会でお示しする予定です。
副委員長	計画から実行していく過程の中で、市民はどの場面でかかわることができるのかを示したほうが良いと思います。市民がかかわる場面が明確になっている方が、周囲への悪影響は小さくすむと考えます。 委員会に出席している各業界の代表の意見を汲み取ることもバラエティに富んだ公園をつくる上で大切だと思います。

事務局	計画策定後にワークショップや地元説明会などで住民とのかかわりをどうするか考えていこうと思います。
副委員長	情報を提供することは、公平に全員にということが大原則であるが、情報を収集するときは誰から聞いたのかを説明できれば、すみ分けをして良いと考えます。 情報収集にあたって、一般市民の方が思いつくことや考えることの先の意見を集めるために、各分野の専門家から意見を集めるというやり方の方が公園の再編を進めるうえでは良いと思います。
オブザーバー	可能であれば、各公園の周囲のまちづくり方針や計画との整合を図る視点を組み込んでいただきたいです。 7 ページの校区の大小や市街化調整区域、駅から近いなどを加味したうえで、メリハリをつけた再編をすることで持続可能なまちづくりが実現できるのではと思います。
事務局	本計画では豊川市立地適正化計画の内容も踏まえて進めていきます。
委員長	5 ページの「指標毎の考え方と評価」のCの誘致圏重複率の値は50%と75%で区切って良いのでしょうか？
副委員長	どこかで区切らないと仕方がないと思います。誘致圏が示されている図を見てどうするのかを評価していくのが良いと思います。

(3) 計画策定スケジュール

【資料説明】 資料3

【質疑応答】

無し

以上